

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化対策には、十分な説明と今後予測されるリスクの確認は随時実施しているが、「このままこのホームで」の希望には応えられる体制が整っていない	① 見取りの出来る体制づくり	・ターミナル指針の見直し ・特別養護老人ホームやはぎ苑職員との意見交換 ・グループホーム職員の個々の死生観に対する研修を繰り返す事で不安感を軽減する	12ヶ月
2	35	予測された訓練の中では、甘さと訓練回数に限界があり、常在的に動ける職員が不足している。また、昨年は、施設内訓練にとどまっていた地域での連携が不十分であった。	① 誰もがいつも通報できるように ② 重度認知症高齢者の誘導の方法を考える ③ 非常用備蓄品の準備と管理方法 ④ 認知症専門機関としての、技術の向上を図る	・訓練マニュアルの見直し ・リスクマネジメントの観点からも手差し確認を常にケアに組み込む ・PDCAのサイクルを研修に取り組む ・災害時地域への人的資源として位置づけを作り出す。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。